

UCHINO

サステナビリティ レポート 2024

2023年9月～2024年8月までの活動実績

企業理念

顧客の利益は会社の利益を生み
社員の利益と社会の利益に還元される

企業ビジョン

環境にも人にも肌にもやさしい
綿素材をはじめとする高品質な製品・サービスを通して、
美と健康とリラクゼーションを世界中の方々へお届けし、
ストレスフリーな社会に貢献します。

国連グローバル・コンパクト署名

2020年2月、国連が提唱する「国連グローバル・コンパクト(UNGC)への支持を表明しました。UNGC署名企業として、「人権」「労働」「環境」「腐敗防止」に関わる10の原則に基づく活動を」推進し、持続可能な社会づくりに貢献していきます。

*This Certificate of Joining
the Global Compact Network Japan
is given to*

内野株式会社

貴社・貴団体は、最高責任者が国連グローバル・コンパクトへの参加意思を表明し、
GC署名者およびグローバル・コンパクト・ネットワーク・ジャパンの会員であることを証します

人権

1. 企業は、国際的に宣言されている人権の保護を支持、尊重し、
2. 自らが人権侵害に加担しないよう確保すべきである

労働

3. 企業は、結社の自由と団体交渉の実効的な承認を支持し、
4. あらゆる形態の強制労働の撤廃を支持し、
5. 児童労働の実効的な廃止を支持し、
6. 雇用と職業における差別の撤廃を支持すべきである

環境

7. 企業は、環境上の課題に対する予防原則的アプローチを支持し、
8. 環境に関するより大きな責任を率先して引き受け、
9. 環境にやさしい技術の開発と普及を奨励すべきである

腐敗防止

10. 企業は、強要と贈収賄を含むあらゆる形態の腐敗の防止に取り組むべきである

国連グローバル・コンパクト署名
2020年2月

UCHINOサステナビリティ行動方針

01. 美と健康とリラクゼーションの提案

心にも身体にも気持ちいい素材・製品を開発し、世界中の方々へ美と健康とリラクゼーションをお届けします。

02. サーキュラーエコノミーの実現に向けての取り組み

限りある資源を有効活用し、循環させる取り組みを推進します。

03. サステナブルで責任のある原材料調達の推進

サプライヤーとの協力体制を構築しながら、資源保護、環境保全、安全性、また人権などに配慮した原材料を調達していきます。

04. ダイバーシティ&インクルージョンの推進

様々な価値観を尊重し、共に支え合うことで、組織内で存在意義を持ちながらパフォーマンスを発揮できる環境づくりを推進していきます。
また、私たちの生活上にある課題解決に取り組むことで、より包括的で多様な社会の実現を目指します。

01. 美と健康とリラクゼーションの提案

心にも身体にも気持ちいい素材・製品を開発し、
世界中の方々へ美と健康とリラクゼーションをお届けします。



活動報告

- 美と健康とリラクゼーションを中心とした上質なウェルネス体験をグローバルにご提供するために、国内外の展示会に積極的に出展しました。Technology Luxury Ecologyの要素を取り入れた製品に触れていただく機会を創出し、肌に触れるものによって、心身のウェルネスが向上することを伝えました。

2023年9月 Maison&Object（パリ/フランス）

2024年2月 SHOPPE OBJECT（ニューヨーク/アメリカ）

2024年8月 Reed Gift Fair（メルボルン/オーストラリア）

UCHINO Smart Cottonの素材開発

卓越した技術と最新のテクノロジーを駆使して、“Light & Soft”で快適な使い心地と高い機能性を備えた、高品質な綿素材を開発していきます。

ウェアラブルスキンケア製品の開発

肌ストレスを軽減し、心身の美しさと前向きな気持ちを引き出す製品を開発・製造していきます。

QOL(Quality of Life)の向上に寄与する製品の開発

心身の健康の基盤となる快眠をサポート、また交感神経と副交感神経のバランスが整い、しあわせ感が高まるような製品を開発・製造していきます。

敏感な肌の方のことを考えた製品の開発

素材によって、肌の悩みは軽減できると考え、専門家の知見やお客様の声を積極的に取り入れ、肌への刺激が少ない、価値ある製品づくりを追求していきます。
国内外のお客様に安心してお使いいただけるよう、第三者機関での検査などを通して安全性を維持し、また機能性と品質の向上に努めます。



STANDARD
100
N-KEN 04001
Nissenken



02. サーキュラーエコノミーの実現に向けての取り組み

限りある資源を有効活用し、循環させる取り組みを推進します。



活動報告

- 回収したタオルは、約23,000枚に達しました。（2022年2月から2024年8月までの累積枚数）
- リサイクル活動で回収したタオルから再生したリサイクルコットン糸を使用し、オーガニックコットン「リファイン」（タオル）を2023年秋冬に発売しました。
- 2023年9月開催の「メゾン・エ・オブジェ」において、サステナビリティの観点から、今後トレンドとなりうる先進的なアイテム「WHAT'S NEW」にお茶染めタオルが選出されました。
【メゾン・エ・オブジェとは】フランスのパリで開催される世界最高峰のインテリア・デザイン関連の見本市



リユース活動

新品、もしくはきれいな状態のタオルは、NPO法人もったいないジャパンと連携し、国内外の福祉施設、養護施設、必要とする団体などに届けています。

リサイクル活動

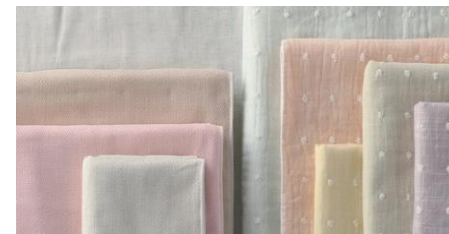
回収したタオルを細かく裁断し、繊維の状態まで解したあとに、新しいコットンを混ぜて糸を紡ぎます。このリサイクルコットン糸をタオルの一部に使用します。回収活動から生まれたタオルは、オーガニックコットン「リファイン」として2023年秋冬に発売されました。

リサイクル糸を使用した製品を通じて、天然繊維はリサイクルが可能であり、あらゆるものに活用できることを伝えていきます。

環境配慮型の製品開発の推進

あらゆるものに価値を見出す柔軟な発想をもって、通常廃棄されるものや規格外などの理由で流通しにくいものを活用した製品づくりを推進しています。土染めタオル、ワインの搾りかすで染め上げたワイン染めタオル、また流通しにくい茶葉から色素を抽出し染め上げたお茶染めのタオルは、海外の展示会でクリエイティブ&サステナブルな商品として高い評価を得ています。

※2003年から環境配慮型の商品を製造販売しています。



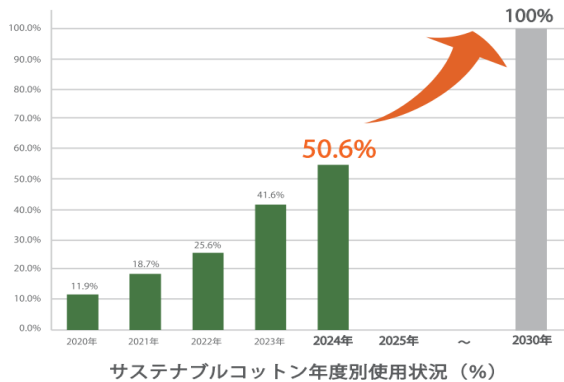
03. サステナブルで責任のある原材料調達の推進

サプライヤーとの協力体制を構築しながら、資源保護、環境保全、安全性、また人権などに配慮した原材料を調達していきます。



活動報告

- 2024年8月時点での使用率は50.6%に達しました。2030年までに使用率が100%となるよう継続的に取り組みます。



サステナブルコットン使用への転換を推進することによって 実現できること

環境への影響を最小限に抑える ● 土壌を汚染しないよう農薬や化学肥料の使用量を減らす ● 自然環境保全のために天然資源である水の使用量を抑える	労働者の健康や生活に配慮 ● 健康被害のない安全性に配慮した農法 ● 農家だけでなく地域全体の生活の向上につながる適正な取引	適正な労働環境 ● 人権侵害やジェンダー差別などのない公平な仕組み ● 児童労働や搾取のない公正な雇用条件
--	---	--

今後は、リサイクルコットン、OCS認証(Organic Content Standard)やGOTS認証(Global Organic Textile Standard)のオーガニックコットンなど、人と社会と環境の変化にも配慮されているものを取り入れています。

流通・販売の領域において、資材や商品パッケージを 天然素材や植物由来の素材に切り替える取り組みを強化

段ボールの再利用および集約出荷の最適化を図り、使用数量の削減	環境配慮型のビニール袋への切り替え	環境対応紙を使用した資材への切り替え
--------------------------------	-------------------	--------------------

04. ダイバーシティ&インクルージョンの推進

様々な価値観を尊重し、共に支え合うことで、組織内で存在意義を持ちながらパフォーマンスを発揮できる環境づくりを推進していきます。また、私たちの生活上にある課題解決に取り組むことで、より包括的で多様な社会の実現を目指します。



活動報告

- がん患者さんへの支援活動として、岩手ホスピスの会へ寄付したタオル帽子は27,432枚、タオルは8,573枚に達しました。(2009年から2024年8月までの累計枚数)
- 低出生体重児と取り巻く環境支援として、くるむハマシュマロガーゼのおくるみを寄付しています。これまでに寄付した枚数は、209枚に達しました。(2022年から2024年8月までの累積枚数)
- 2023年7月の秋田豪雨、また2024年1月の能登半島地震で被災された地域へタオルを1,293枚寄付しました。
- ボランティア活動の支援として、学生団体WorldFutとユニオンビズが主催したスポーツイベント、および、中央大学C-Habitatがベトナムで実施した住居建設活動にタオルやハンカチなど計166枚寄付しました。

健康経営の推進

時代とともに変わる価値観に柔軟に応じながら、心身ともに健康で最大限のパフォーマンスを発揮できるよう、多様なワークスタイルを推進し、働きがいのある環境を創出します。

がん患者さんへの支援活動

岩手ホスピスの会と連携し、2009年から活動しています。抗がん剤の副作用で脱毛に悩む患者さん用のタオル帽子を作り、全国のがん診療連携拠点病院へ寄付しています。

低出生体重児を取り巻く環境支援

一般社団法人くるむと連携し、2022年から活動しています。ご家族と赤ちゃんが笑顔で包まれる環境づくりを応援するため、医療機関や自治体などハマシュマロガーゼ製品を届けています。

地震や豪雨などで被災された地域への支援

地域に根付いた企業や団体と連携し、状況に応じてタオルなどを寄付してます。生活のあらゆるシーンに必要なタオルを通じて、心の支えとなるアクションを創造し、必要とされる活動を推進しています。

学生主体によるボランティア活動の支援

主に発展途上国において住居を修繕する活動やスポーツを通じて子供たちの夢を応援する活動など、学生が自主的に行動するボランティア活動の支援をしています。